

世界初編成オーケストラ

10.17 TUE

open 18:00 / start 19:00

サントリーホール

東京メトロ南北線「六本木一丁目」駅(3番出口)下車徒歩5分
東京メトロ銀座線・南北線「溜池山王」駅(13番出口)下車徒歩10分
都営01系統バス(渋谷～新橋)「赤坂アークヒルズ前」停下車

【チケット】

■前売り券(全席指定)

一般: 3500円 / 学生券(高校生以下): 2000円
(当日券は500円増し)

【お問い合わせ】

チケットぴあ

[受付電話] 0570-02-9999

[受付時間] 24時間受付(Pコード/335-754)

NSOホームページ

<https://nonstringsorchestra.wixsite.com/concert>

※未就学児の同伴、ご入場はお断り致します。

※チケットのキャンセル払い戻しはどのような場合でも致しかねますので予めご了承ください。

Program

シベリウス / フィンランディア

Jean Sibelius / Finlandia

モーツァルト / オーボエ協奏曲 八長調 K.314

Wolfgang Amadeus Mozart / Oboe Konzert C-Dur K.314
(solo 宮村和宏 / Kazuhiro Miyamura)

チャイコフスキー / 交響曲第6番短調 作品74「悲愴」

Pyotr Ilyich Tchaikovsky / Sinfonie Nr.6 h-moll Op.74 «Pathétique»

指揮



藤井 一男

ゲストアーティスト



宮村 和宏
オーボエ
(東京佼成W.O)
オーボエSolo



橋本 真介
クラリネット
(名古屋音楽大学准教授)
コンサートマスター



藤井 香織
フルート
(ソリスト)



タラス・テムチン
クラリネット
(九州交響楽団首席)



吉田 記子
バスクラリネット
(東京クラリネットアンサンブル)



丸山 勉
ホルン
(日フィル客演首席)



神代 修
トランペット
(大阪教育大学准教授)



佛坂 咲千生
トランペット
(洗足学園音楽大学教授)



塚本 修也
トロンボーン
(元シエナW.O)

NSOとは " Non Strings Orchestra " つまり、絃楽器のいないオーケストラのこと。
 通常のオーケストラからヴァイオリン、ヴィオラ、チェロがいなくなり、その代わりに全てクラリネットで演奏してしまうというものです。
 その他の木管・金管・打楽器は通常通り。
 まろやかな響きの新たなサウンドに乞うご期待。

指揮／藤井一男

国立音楽大学首席卒業。武岡賞受賞。皇居桃華楽堂にて御前演奏を行う。第41回日本音楽コンクール第2位入賞。2年間NYへ留学し、ニューヨークフィル首席クラリネット奏者スタンリー・ドラッカー氏に師事。全国各地でソロ・室内楽等の演奏活動を行い、リリースCDは「ロマンティック・クラリネット」「クラリネット小品集」「Bitter Sweet」「折りのとき」「華厳なるクラリネットアンサンブルの響き1〜11」ほか多数。中でも、世界で初めての試みとなった「C-ローズ: 32のエチュード」「C-ローズ: 40のエチュード」「カヴァリエーレ: 30のカプリス」のピアノ伴奏付きアルバムは、音大受験用エチュードとして知られていたこれらの作品を、藤井一男ならではのユニークなアイデアと音楽性を用いて芸術作品に仕上げたとして絶賛される。またヤマハ在籍時より、ヤマハクラリネットSE、SE-V、SE-Vmasterそして最高峰のSEV-Master KF、SE Artist Modelの開発をリードしてきた。1997年テキサス州にて開催された「International Clarinet Fest '97」に日本代表として招待され、リサイタルを行い好評を博す。また、普及・啓蒙活動にも積極的に取り組んでおり、40年以上に亘り全国各地で開催しているクラリネットセミナーでの指導法には定評がある。さらにここ数年はクラリネット奏者としてのみならず、これまでの演奏経験を生かした指揮活動をするなど、幅広い活動を展開。現在の日本のクラシック界を代表するクラリネット奏者の一人であり、常に挑戦し続け新しい音楽の方向性を切り開いているアーティストである。

Guest Artist

橋本真介 (クラリネット) 【コンサートマスター・名古屋音楽大学准教授】

香川県出身。高松第一高等学校音楽科、武蔵野音楽大学を卒業後、シエナウインドオーケストラを経て、広島交響楽団に入団。NHK-FM洋楽オーディション合格。NHK-FMリサイタル出演。1995年よりロータリー財団奨学生としてドイツ国立リュベック音楽大学に留学。クラリネットをザビーネ・マイヤー教授に師事。同大学修了試験を最高点で卒業。1997年帰国し同楽団に復帰。以後、NHK交響楽団等主要オーケストラに首席客演奏者として出演。ソリストとしては1992年、2005年、2006年、2007年広瀬とモーツァルトの協奏曲等を共演。1999年10月よりTSSテレビ新広島島の音楽プロデューサー。主宰する広島クラリネットアンサンブルより「タナトス」「チャールダシュ」「暁の夜窓」の3CDを株プレーンよりリリース。第30回広島県民文化奨励賞受賞。全国各地でのクリニック、吹奏楽コンクールやアンサンブルコンテスト等の審査など幅広く活動。27年間のオーケストラ活動を経て現在、名古屋音楽大学准教授、活水女子大学客員教授、エリザベト音楽大学非常勤講師、安城学園高校吹奏楽部音楽監督、日本クラリネット協会理事、広島クラリネットアンサンブル主宰、なにわオーケストラリワインズ、CrazyClassixメンバー。

宮村和宏 (オーボエ) 【佼成ウインドオーケストラ・副コンサートマスター】

神戸生まれ。東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て'01年東京芸術大学音楽学部器楽科卒業。'95年第3回高校生国際芸術コンクール、'00年第69回日本音楽コンクール、それぞれオーボエ部門第1位。これまでに、ソリストとして東京佼成ウインドオーケストラ、東京交響楽団、東京ソリスト、瀬戸フィルハーモニー交響楽団、マリンスキー劇場沿岸州立舞台交響楽団(ロシア)等と共演。リサイタルなどのソロ活動、室内楽、現代音楽等、多ジャンルで活動。また、国内外のオーケストラの公演に客演首席奏者として多数参加している。現在、東京佼成ウインドオーケストラオーボエ奏者、副コンサートマスターを務める傍ら、昭和音楽大学、洗足学園音楽大学の非常勤講師として後進の指導にあたる。現代音楽アンサンブル「Ensemble Contemporary αメンバー」、佼成ウインドメンバーによるアンサンブル「デュオなるみや(フルート・オーボエによるデュオ)」「東京エレメンツ(木管五重奏)」メンバーとしても活動している。2009年8月には1stアルバム「ロミニクス(佼成出版社)」、2011年1月には2ndアルバム「マジック・オーボエ」(日本アコースティックレコーズ)をリリース。「パワーアップ吹奏楽!オーボエ」執筆、「オーボエパートリー ポピュラー&クラシック名曲集」「日本の名曲〜花は咲く〜」等を監修(全てヤマハミュージックメディア刊)。

藤井香織 (フルート) 【ソリスト】

藤井香織は、安定した技巧と深い音楽性を兼ね備え、クラシックからクロスオーバーまであらゆるジャンルで世界的に高い評価を受けている。これまでに日本、ドイツ、アメリカ、中南米各国にて多くのコンサートを展開。また、これまでに8枚のCDがリリースされ、幅広く多彩な魅力を発揮している。中でも6枚目のCD「イバネマの娘」はグラミーにプリノミネートされ、世界的な話題となる。東京藝術大学卒業後、シュトゥットガルト国立音楽大学ソリスト・クラスに留学、最優秀で卒業。フルートを三上明子、J.ゴールウェイ、W.シュルツ、A.ニコレ、P.マイゼン、J.C.ジェラルド、ソルフェージュを茂木眞理子の各氏に師事。国内においては「第7回日本木管コンクール」「第14回日本管打楽器コンクール」「第67回日本音楽コンクール」のすべてにおいて史上最年少第1位を獲得。海外においても「第44回マリア・カナルス国際コンクール」(スペイン)で史上最年少第2位入賞、併せて特別賞を受賞。また、ドイツで開催された「第10回クローウ国際コンクール」デュオ部門にて、ピアニストの姉、藤井裕子とともに日本人初の第2位に入賞した。さらに朝日新聞社賞、E・ナカミチ賞を受賞するなど受賞歴は枚挙にいとまがない。これまでに新日本フィル、東響、都響、読響等の国内主要オーケストラや、スウェーデン室内オーケストラ、ウィーン交響楽団、フランクフルト室内管弦楽団、シンフォニア・ヴェルソヴィア、スタニスラフ・ブーニン、フィリップ・モルアルブレヒト・マイヤーをはじめとする国際的アーティストと多数共演。NHK、ZDF(ドイツ第2国営放送)をはじめ多くのテレビ・ラジオ番組への出演。さらには各地の国際音楽祭へのゲスト出演など活発な活動を展開している。2014年、発展途上国に存在する音楽家に、音楽教師育成プログラムを提供する非営利団体Music Beyond, Inc. を設立し、現在自ら中央アフリカのコンゴ民主共和国を訪れながら指導にあたり、ニューヨーク在住。www.kaorifujii.net www.musicbeyond.org

タラス デムチシン (クラリネット) 【九州交響楽団首席奏者】

九州交響楽団首席クラリネット奏者。ウクライナ出身。ミコーラ・リーセンコ音楽大学、ハンス・アイスマー音楽大学を首席で卒業。第12回大阪国際音楽コンクール木管楽器部門グランプリ他、多数のコンクールで受賞。これまでに九州交響楽団とヴェーパー、コーブランド、モーツァルトの協奏曲を共演。またゲスト首席奏者として新日本フィルハーモニー交響楽団に招かれる。「ドク・現代作品の主題による14の大練習曲」、「マハバウム宮廷の栄華〜シュターミッツの管弦楽〜」、「アゴラ」を発売。マコ・オアシシャルクラリネットアーティスト、カスタム・ウインズ木管五重奏団、Aqua Trioメンバー、Beethoven Sinfoniettaチーフコンダクター。

吉田記子 (バスカ) 【東京クラリネットアンサンブル】

国立音楽大学卒業。武岡賞受賞。第48回読売新人演奏会に出演。1985年と1987年にバスクラリネットリサイタルを開催。クラリネットを北爪利世、池松和彦、大橋幸夫の各氏に師事する。現在、ソリスト、オーケストラ奏者として活動中。東京クラリネットアンサンブルバスクラリネット奏者。

佛坂咲千生 (トランペット) 【洗足学園音楽大学教授】

佐賀県出身。1978年武蔵野音楽大学卒業。大学4年時に東京佼成ウインドオーケストラ入団。1979年、第1回モーリス・アンドレ国際コンクール プラスアンサンブル部門3位入選。同年、日本フィルハーモニー交響楽団に入団。1982年、西ドイツ・ミュンヘン留学。元バイエルン放送交響楽団首席奏者C.ゲッティング氏に師事。同オーケストラにエキストラとして出演。帰国後、日本フィルハーモニー交響楽団に復帰。1990年、NHK交響楽団入団。2016年2月定年退職。故、小林高彦、戸部豊氏、A・カークス氏に師事。現在、洗足学園音楽大学教授、武蔵野音楽大学非常勤講師。

神代修 (トランペット) 【大阪教育大学准教授】

1987年、第4回日本管打楽器コンクール第1位。東京文化会館推薦オーディション合格。1988年、第57回日本音楽コンクール第2位(1位なし)。併せて松下賞受賞。1990年、東京フィルハーモニー交響楽団入団(96年まで副首席奏者)。東京藝術大学卒業。読売新聞社、ヤマハの高新人演奏会に出演。1992年、ブラハの春国際コンクール特別賞受賞。1994年、日本トランペット協会常任理事就任(2012年まで)。国際交流基金の助成により、ソリストとしてエクアドル国立交響楽団定期演奏会に出演し、キト音楽院にて講師として招かれる。1995年、安田生命クオリティオブライフ文化財団奨学生として、ウィーン国立音楽大学に留学(〜97年)。帰国後ソロ活動以外にも様々なジャンルでの活動を始め、NHK-FMリサイタル、同名曲リサイタルに出演。ソロCD「ジェントル・ストリーム」をはじめ10タイトルをリリースし好評を博す。2002年より(財)地域創造「公共ホール音楽活性化事業」登録アーティストとして、各地で地域に密着した演奏活動を行なう。2004年、文化庁特別派遣芸術家在外研修員として同年12月より渡欧。E.H.タール、G.カッソナーの各氏に師事。時代楽器の奏法の修得及び資料の収集を行なう。「空白の時代」とされてきた19〜20世紀の知られざるトランペット作品を発掘、紹介してゆく活動は専門誌でも取り上げられ、海外からも注目が集まっている。現在、大阪教育大学准教授、洗足学園音楽大学客員教授、関西トランペット協会理事。これまでに、津堅直弘、杉木峯夫、故中山富士雄、A・ホラーの各氏に師事。ラ・トロンバの会、なごさプラスソリスト、トランペット・カルテットT-Bros.七吹喇叭吹奏部主宰。

丸山勉 (ホルン) 【日本フィルハーモニー交響楽団客演首席奏者】

武蔵野音楽大学卒業。ホルンを和方寛茂、伊藤泰世の各氏に師事。在学中に日本フィル入団。その後'90年読売日本交響楽団に首席奏者として移籍。第8回日本管打楽器コンクール第1位入賞。その後、'93年ジュネーブに留学。B.シュヤナー氏に師事。カナダやスイスでの世界ホルンフェスティバルにゲスト・アーティストとして招かれるなど幅広く活躍。現在、ソリストとしてリサイタル、協奏曲を、ソロCDでは「ルネッサンス」「レゾナンス」、カスタムウインズとして「アゴラ」等リリースの他、ホルン曲集「ポピュラー&クラシック」「ファンタジック・デュエット」「丸山勉のディズニー曲集」等の監修を手掛ける。著書の「パワーアップ吹奏楽!ホルン」絶賛発売中。武蔵野音大准教授として教鞭を執る他、つの笛集団、カスタムウインズのメンバーとして、オーケストラでは日本フィルの客演首席奏者、紀尾井ホール室内管弦楽団のメンバーとして活躍。

塚本修也 (トロンボーン) 【元・シエナウインドオーケストラ】

信愛学園(現・浜松学芸)高等学校音楽科卒業。東京芸術大学音楽学部器楽科卒業。Royal Academy of Music,London(英国王立音楽院)演奏家養成課程修了。1990年、東京文化会館主催新進音楽家デビューコンサート出演。1992年、日本トロンボーン協会主催トロンボーンコンペティション・アンサンブル部門学生部第1位。1997年、大阪トロンボーン協会主催トロンボーンコンペティション・アンサンブル部門最高位。現在、アカデミック・ウインド・オーケストラ浜松代表。浜松市民吹奏楽団音楽監督。桐朋学園芸術短期大学講師。日本トロンボーン協会会長。また、全国のオーケストラへの客演、音楽祭、室内楽、ソロ、スタジオでも活躍。特に吹奏楽を中心に後進の指導もしている。トロンボーンを伊藤清、小田桐寛之、H.ナッシュ、故山本雅章各氏に師事。

Member

- Fl./藤井香織、畠山彰子、平尾多美純
- Ob./宮村和宏、藤井貴宏、安藤成志
- Cl./タラス・デムチシン、水越裕二
- Fg./吉村綾香、宮部貴絵
- Hr./丸山勉、阿部華苗、高須洋介、井宮有香
- Tp./神代修、佛坂咲千生、麻野弥生
- Trb./塚本修也、萬浪弘和、佐藤匠
- Tuba./山城雅也
- CB./時津りか、谷口正美、武村浩継、岩田真人
- Perc./高梨晃、金子泰士、竹内美乃莉
- 《Tutti Cl.》
- 1A/橋本真介、鈴木ひとみ、吉田さや佳、石川成美、矢口愛珠、川村澄美子
- 1B/小田美代子、井上春緒、倉愛花理、松本智子、中村由美、伊原志織
- 2A/藤田華、有吉尚子、西澤いずみ、廣瀬涼子、森井陽香、眞崎美紗登、藤原香奈海
- 2B/吉本拓、山田陽子、新居遥輔、西本彩香、糸井奈々、梅本佐紀子、別府みつき
- 3A/後藤椋花、松本裕三子、小林佑季子、久保田智巳、寺島由紀子、石崎かえて、菊地優希
- 3B/伊藤千佳、明妻若奈、角野由枝、小久保菜子、武田弘、藤見かのこ、藤平沙織
- Bass A/古川邦彦、加藤和宏、池谷歩、吉本沙矢、奥山芳弘、五十里真美
- Bass B/吉田記子、池田めぐみ、八巻志帆、野沢和弘、佐藤義人、仙臺玲